

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県（いわて定住・交流促進連絡協議会）
		関係協力団体	三陸ジオパーク推進協議会

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	1名	活動時期	2014年5月～現在
------	----	------	------------

活動地域	青森県八戸市～岩手県沿岸13市町村～宮城県気仙沼市（三陸ジオパークエリア全域）
------	---

活動内容	<p>三陸ジオパーク推進協議会の支援（普及啓発・情報発信） ジオパーク認定ガイド、現地推進員、関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌町サーモン祭出展 盛岡食の商談会出展</li> <li>・ジオさんぽなのだ・フォトロゲジオブース出展</li> <li>・ジオパークかわらばん2022（気仙、岩泉、釜石）</li> <li>・ジオトレイン岩泉、イオンタウン釜石出展イベント</li> <li>・月刊情報紙「ジオだより」発行</li> <li>・かわらばんの事業</li> </ul> <p>開催地域及び作品を募集し、審査会・表彰まで行った。対象地域ごとの積極的な取組みがあり、教育委員会等とも連携しジオパーク授業も行われ、釜石市では、「ジオパーク」をテーマに鉄の学習活動発表があった。</p>	  
	<p>ホームページ <a href="http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen">http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen</a></p>	

問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
	担当者	伊藤 知紀		面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	電話番号	019-629-5184	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全半壊)	26,079棟
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp		備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値（R4.12.31現在）</li> <li>● 人的被害は、死者：5,145人、行方不明者：1,110人（R4.12.31現在）</li> </ul>		

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	三陸鉄道株式会社

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	1名	活動時期	平成31年1月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県宮古市
------	--------

活動内容	<p>【三陸国際芸術祭】 三陸鉄道社長が委員長を務める三陸国際推進委員会の運営委員として活動。委員会は東日本大震災の被災地支援がきっかけでスタート。</p> <p>【情報発信】 ラジオ放送を企画・制作して丸4年。継続することで広がりが出てきている。2023年1月はFM東京から引き合いがあり制作中。他、三陸鉄道側から告知依頼があれば局にお願いし放送してもらっている。facebook、Twitter、YOUTUBEで情報発信。</p> <p>・動画「さんてつのオシゴト」制作。facebook、Twitter、YOUTUBE、駅構内で映像を随時上映。</p> <p>・三陸鉄道沿線地域の職の情報誌「駅-1グルメ」作成(20・21号)</p> <p>【震災学習列車】 震災学習列車とそのガイドの取材し動画を作成、HPIにUP。防災、自分の命を守る大切さを伝えている様子を動画にまとめている。</p>	 <p>2022年度 三陸国際芸術祭</p>  <p>エフエム岩手収録の様子</p>  <p>震災学習列車 動画のワンシーン</p>  <p>三鉄社員に取材中</p>  <p>駅-1 グルメ 20号・21号作成</p>
------	--	---

ホームページ	<a href="http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen">http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen</a>	配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
--------	---	--------	----	------------	------	-------

問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01km <sup>2</sup>	
	担当者	伊藤 知紀		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	019-629-5184	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在)</li> <li>● 人的被害は、死者：5,145人、行方不明者：1,110人(R4.12.31現在)</li> </ul>		
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp				

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	沿岸広域振興局 宮古地域振興センター

**概要** 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。

支援員数	2名	活動時期	令和元年5月～
------	----	------	---------

活動地域 岩手県宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村

**活動内容**

地域支援(クルーズ船入港歓迎ほか)  
 コロナで中止していたクルーズ船、宮古入港の際の歓迎業務  
三陸ジオパーク現地推進員活動(中部ブロック)  
 三陸ジオパーク総会、三陸ジオパークセミナー補助業務、ジオだより作成等  
三陸DMO活動  
 さんりく旅するべHP記事作成、盛岡三高総合探求補助業務、教育旅行資料作成及び事業者訪問など  
タロウインイベント参画  
 ハロウインの時期に合わせて宮古市・道の駅たろう周辺でイベントを開催。  
 イベント開催の初期段階から参画運営と「ブラたろう」のスタンプラリーを支援



ホームページ	http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen		配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	担当者	伊藤 知紀		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全半壊)	26,079棟
	電話番号	019-629-5184					
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在)</li> <li>● 人的被害は、死者：5,145人、行方不明者：1,110人(R4.12.31現在)</li> </ul>			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	いわて定住・交流促進連絡協議会(久慈事務所)

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	1名	活動時期	令和元年6月～
------	----	------	---------

活動地域	岩手県久慈市周辺の三陸沿岸地域
------	-----------------

活動内容	<p>○三陸沿岸の素材を生かした地域の魅力発信 関係団体と連携をして下記イベント等にて地域資源の魅力を県内外に発信し、地域に根ざした活動の推進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーカヤック体験&amp;ビーチクリーン(野田村トレイル振興会主催)</li> <li>・ジオさんぽなのだ(三陸ジオパーク推進協議会主催)</li> <li>・三陸ジオパークフォトロゲイニングinのだ(県北広域振興局主催)</li> <li>・ヒロノットでジオパーク！(三陸ジオパーク認定ガイド主催)</li> <li>・三陸ジオパーク構成市町村長による北部エリアツアー</li> <li>・ドローン撮影による県北沿岸エリアのPR支援</li> </ul>	<p>シーカヤック体験&amp;ビーチクリーン</p> 	<p>ジオさんぽなのだ</p> 
	<p>ヒロノットでジオパーク！</p> 	<p>ドローン撮影によるPR支援</p> 	

ホームページ	<a href="http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen">http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen</a>	配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
--------	---	--------	----	------------	------	-------

問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	担当者	伊藤 知紀		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全半壊)	26,079棟
	電話番号	019-629-5184					

メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在)</li> <li>● 人的被害は、死者：5,145人、行方不明者：1,110人(R4.12.31現在)</li> </ul>
---------	----------------------	----	--

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	県沿岸広域振興局 経営企画部 産業振興室

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	1名	活動時期	平成30年6月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県釜石市、上閉伊郡大槌町及び気仙地域
------	----------------------

活動内容	<b>三陸ジオパークの推進(南部ブロック)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍におけるオンラインセミナーの企画、運営(R4. 2月)</li> <li>・ 構成市町村長ジオツアーの企画、運営</li> <li>・ 各種イベントにおけるPR活動(サーモン祭り、海開き等)</li> <li>・ 定期通信「ジオだより」における地域情報作成</li> </ul>
	<b>三陸DMOの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源の活用促進(釜石とれたて瞬食ツアー、釜石鉱山ジオセミナー、箱崎半島フィールドワークへの参加)</li> <li>・ 県立高校総合探求授業への同行支援</li> <li>・ さんりく旅するべ博2022の運営支援</li> </ul>
	<b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域情報のSNS発信、地域イベントへの積極参加</li> </ul>



ホームページ	http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen		配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室		面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	担当者	伊藤 知紀	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	6,254人	住宅被害 (全壊)	26,079棟
	電話番号	019-629-5184					
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp		備考	・配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在) ・人的被害は、死者:5,144人、行方不明者:1,110人(R4.12.31現在)			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	(公財)さんりく基金、三陸DMOセンター

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	1名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県三陸沿岸地域、盛岡市
------	---------------

活動内容	<p>・三陸沿岸の観光情報を発信するウェブサイト「さんりく旅するべ」を担当し、最新観光情報の更新ほか、宮古市魚市場、べっぴんの湯、橋野鉄鉱山等の取材活動を行い、地域資源(施設)の魅力を紹介する特集ページを作成。</p> <p>・盛岡第三高等学校の第一学年総合探究授業を三陸沿岸各地で実施。「SDGs」について学ぶ体験プログラムを用意し、内陸部の学生と沿岸地域の方々との交流を図った。</p> <p>・観光庁採択・三陸地域誘客促進事業「さんりく旅するべ博」キャンペーンの中の、ドライブスタンプラリー企画・立案を担当した。「【岩手県三陸沿岸】ゆっくり愛して なが～く走ってスタンプラリー」。</p>	       
------	---	---

ホームページ	<a href="http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen">http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen</a>	配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
--------	---	--------	----	------------	------	-------

問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	担当者	伊藤 知紀		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全半壊)	26,079棟
	電話番号	019-629-5184		備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在)</li> <li>● 人的被害は、死者：5,145人、行方不明者：1,110人(R4.12.31現在)</li> </ul>		
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	岩手県ふるさと振興部 県北・沿岸振興室

**概要** 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。

支援員数	1名	活動時期	令和2年4月～
------	----	------	---------

活動地域	岩手県沿岸13市町村
------	------------

**活動内容**

**(1)三陸防災復興プロジェクト**

- 復興に取り組む地域の姿や三陸地域の魅力を、公式HP、SNS(Twitter、Facebook、Instagram)にて発信
- 三陸地域における一体的な「防災を学習する場づくり」の推進

**(2)三陸の地域振興**

- 防災イベントや地域づくりイベントへの参画(防災推進国民大会2022、三陸ジオパーク振興イベント等)
- 地域団体、地域人材との連携活動(水産業の担い手確保対策事業各イベントのチラシ作成及び周知の支援等)

**(3)復興支援マッチングの推進**

- 本県沿岸被災地の復興を促進するため、沿岸地域の支援ニーズと県内外からの復興支援提案のマッチングを実施

三陸防災復興プロジェクト @sanniku\_project

〈#陸前高田市〉昨日12/6、陸前高田グローバルキャンパスで行われた#避難所体験に参加してきました。

その中の一つ「炊き出し体験」では、震災時 陸前高田市で実際に行われた、焚火を利用した炊飯に挑戦し、避難所を想定した一人3mのスペースで食しました。

SNSによる情報発信

防災を学ぶ場づくりP ワークショップ

防災推進国民大会2022 現地セッション参加

MISSION CLEAR

三陸ジオパーク クイズラリー

MISSION!

情報発信・フライヤー作成等支援

ホームページ	<a href="http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen">http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen</a>	配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
--------	---	--------	----	------------	------	-------

問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	担当者	伊藤 知紀		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全半壊)	26,079棟
	電話番号	019-629-5184					

メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在)</li> <li>人的被害は、死者：5,145人、行方不明者：1,110人(R4.12.31現在)</li> </ul>
---------	----------------------	----	--

# 「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県 ～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	県定住推進・雇用労働室(同協議会定住・交流推進部)

**概要** 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活かした地域振興活動を行っている。

支援員数	1名	活動時期	平成30年10月～
------	----	------	-----------

**活動地域** 岩手県内全域

- 活動内容**
- 1・岩手県内全域の定住・交流事業の支援に関する情報発信
    - ①移住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」(図①ページTOP)
    - ②Twitter「イーハトー部」(図②ページTOP)
  - 2・首都圏移住関連イベント参加・セミナー開催による岩手県への移住推進PR活動
  - 3・相談窓口業務「定住推進・雇用労働室 (LINE・電話・対面)」
  - 4・復興支援員、地域おこし協力隊の支援活動(主に活動・隊員募集等の情報発信協力)



図①移住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」



図②Twitter: イーハトー部



岩手県移住定住イベント

ホームページ	http://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen		配属地域概要	人口	1,180,512人	高齢化率	34.8%
問合せ先	所属	岩手県ふるさと振興部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01km <sup>2</sup>		
	担当者	伊藤 知紀		人的被害 (死亡者:身元判明者+死亡認定者)	6,255人	住宅被害 (全半壊)	26,079棟
	電話番号	019-629-5184					
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp		備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値(R4.12.31現在)</li> <li>● 人的被害は、死者:5,145人、行方不明者:1,110人(R4.12.31現在)</li> </ul>			

# 「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名	大船渡市復興支援員(災害公営住宅コミュニティサポーター)	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	特定非営利活動法人 きょうせい大船渡

**概要** 災害公営住宅において、自治会の総会や規約作りのサポートを行うことで、運営を軌道に乗せ、入居者間の支え合いの体制の構築を図っている。また、地域交流活動を通して、既存の地域コミュニティとの連携推進に向けた橋渡しを行うことで、コミュニティの再構築を図っている。

支援員数	4名	活動時期	平成26年4月～
------	----	------	----------

活動地域	市内災害公営住宅(25か所)
------	----------------

活動内容	<p>○自治会運営のサポート 総会や役員会を開催するに当たり、進行方法や資料作り、議事録の作成方法等のアドバイスを行っている。また、規約や集会所利用方法など、自治会のルール作りについてのアドバイスを行っている。</p> <p>○交流機会創出活動 各住宅のニーズを把握して実施機関へ繋ぎ、団地住民や地域住民との交流機会の場づくりを展開して地域交流の活性化を図っている。</p> <p>○各住宅で抱える課題解決への支援 各住宅では、役員の高齢化やイベントの担い手不足など、それぞれの事情に応じて様々な課題が発生しており、訪問活動を通して課題の把握と、解決に向けたアドバイスや関係機関との調整などのつなぎ支援を実施している。</p>	
------	---	--

ホームページ	<a href="https://www.cc-ofunato.or.jp/">https://www.cc-ofunato.or.jp/</a>	配属地域概要	人口	33,540人 (R4.12月末現在)	高齢化率	38.93% (R4.12月末現在)
--------	---	--------	----	------------------------	------	-----------------------

問合せ先	所属	都市整備部住宅管理課	被災状況	面積	322.51km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	担当者	澤田 剛		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	419人		
	電話番号	0192-27-3111(内線327)					

メールアドレス	ofu_ju-ko@city.ofunato.iwate.jp	備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。
---------	---------------------------------	----	---

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名	大船渡市復興支援員(被災世帯等に対するパーソナルサポート)	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	特定非営利活動法人 きょうせい大船渡

概要	震災被害に伴う生活課題を抱えた人々に寄り添い、個々の課題の解決に向けて伴走型の再建支援(パーソナルサポート)を実施する。
----	--

支援員数	5名	活動時期	平成26年4月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県大船渡市内
------	----------

活動内容	<p>○訪問活動 在宅被災世帯及び自宅再建世帯、災害公営住宅等を含めた把握世帯等の状況変化を察知するための継続的な経過確認訪問を行っている。</p> <p>○生活再建相談支援 調査訪問等により把握された生活再建課題に対し、必要とされる手続きやつなぎ支援を行うとともに、複合的な課題等、相談内容や状況に応じて地域支援体制のコーディネートを行っている。</p> <p>○交流機会創出活動 孤立世帯・懸案世帯の交流機会を創るためのサロン・イベント等の開催及びコーディネートのほか、地域交流活動課題の相談・サポートを行っている。</p> <p>○その他 ケースカンファレンス、他支援機関との連携会議、共生社会を考える勉強会などを行っている。</p>	
------	--	--

ホームページ	<a href="https://www.cc-ofunato.or.jp/">https://www.cc-ofunato.or.jp/</a>		配属地域概要	人口	33,540人 (R4.12月末現在)	高齢化率	38.93% (R4.12月末現在)
問合せ先	所属	保健福祉部地域福祉課		面積	322.51km <sup>2</sup>		
	担当者	小松 伸也	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	419人	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	電話番号	0192-27-3111(内線183)					
	メールアドレス	ofu_fukushi@city.ofunato.iwate.jp	備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県岩泉町 ～

事業名	畑わさび等栽培指導支援員 設置事業	事業実施主体	岩手県 岩泉町
		関係協力団体	一般社団法人岩泉農業振興公社

概要	<p>震災による被災、復興関連事業への就業、高齢化等で離農する農業者の増加及び遊休化する農地の増加が加速している実情から、本町の震災復興計画の目標の一つとして掲げている「産業経済の再生」を目指すため、生産量日本一を誇る畑わさびの生産拡大支援と、畑わさび及び地域に適する農作物の調査・研究、生産物の販路確保、耕作支援等を実施し、農業人材の育成と、農業での雇用創出を生み出す活動を展開することにより、産業振興を通じた地域コミュニティ支援を推進するもの。</p>
----	--

支援員数	2名(令和4年12月末)	活動時期	平成28年1月～
------	--------------	------	----------

活動地域	岩手県岩泉町内全域
------	-----------

活動内容	<p>本プロジェクトは、就農希望者を受入れる人材育成や畑わさびを始めとする地域環境に即し所得につながる作物の推奨と栽培指導を行うなど、就農～栽培指導～販売支援までをトータルにサポートするインストラクターを確立し、震災で疲弊する地域農業の振興を図り、農業人材の育成と農業での雇用創出を目的に活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農希望者の受入れ、就農できる体制整備と組織整備</li> <li>・農業による就業体制の整備(農業での雇用体系整備)</li> <li>・畑わさびを始め経営が成立する作物の栽培支援、調査・研究</li> <li>・販路や加工等での換金体制の整備</li> <li>・栽培作物の産地となるための指導方法を確立</li> <li>・被災農家等耕作の応援が必要な農家に対する耕作応援</li> </ul>	
------	---	--

ホームページ	<a href="http://www.town.iwaizumi.lg.jp/">http://www.town.iwaizumi.lg.jp/</a>		配属地域概要	人口	8,591人	高齢化率	45.35%
問合せ先	所属	岩泉町 農林水産課	被災状況	面積	992.36km <sup>2</sup>		
	担当者	澤口 光治		備考	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	13人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	0194-22-2111(内線539)	町東部の小本地域に甚大な被害。町全域で風評被害				
	メールアドレス	k.sawaguchi@town.iwaizumi.lg.jp					

# 「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県岩泉町 ～

事業名	小本地域資源利活用施設 運営支援員事業	事業実施主体	岩手県 岩泉町
		関係協力団体	小本浜漁業協同組合

## 概要

岩泉町小本地区は、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた。町では小本地域の復興のシンボルとして、地域経済とコミュニティを活性化するため「小本地域資源利活用施設」を平成29年に整備した。本事業は、本施設の運営支援を通じて、小本地区における「持続する地域社会の形成」及び「支えあい元気があふれる地域コミュニティの創出」を図るものである。

支援員数	2名(令和4年12月末)	活動時期	平成29年4月～
------	--------------	------	----------

活動地域	岩手県岩泉町小本地域
------	------------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小本地域資源利活用施設の運営支援</li> <li>・イベントの開催</li> <li>・農林水産物を活用した商品の開発及び販売促進</li> </ul>	 
	 	

ホームページ	<a href="http://www.town.iwaizumi.lg.jp/">http://www.town.iwaizumi.lg.jp/</a>		配属地域概要	人口	8,591人	高齢化率	45.35%
--------	---	--	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	岩泉町 農林水産課	被災状況	面積	992.36km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	177戸
	担当者	菊池 麻里		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	13人		
	電話番号	0194-22-2111(内線:542)					

メールアドレス	m.kikuchi@town.iwaizumi.lg.jp	備考	町東部の小本地域に甚大な被害。町全域で風評被害。
---------	-------------------------------	----	--------------------------

# 「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県岩泉町 ～

事業名	地域木材活用支援員設置事業	事業実施主体	岩手県 岩泉町
		関係協力団体	株式会社 岩泉フォレストマーケティング

## 概要

地域木材の活用は以前からの課題であり、特に広葉樹については資源量の把握が難しいことなど、近年急増する国産広葉樹需要への安定供給が非常に難しい状況にあることから、地域木材等の販路拡大支援やふるさと納税返礼品等の開発などを行い、本町の豊かな森林資源を最大限に活かした震災復興のための地域活性化を目的として実施するもの。

支援員数	1名(令和4年12月末)	活動時期	令和3年4月～
------	--------------	------	---------

活動地域	岩手県岩泉町全域
------	----------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域木材等の販路拡大支援</li> <li>・ふるさと納税返礼品等の開発と販売促進</li> <li>・広葉樹×FSCによる木材の高付加価値化</li> <li>・商品化の可能性がある樹木の植栽</li> </ul>		
			

ホームページ	<a href="http://www.town.iwaizumi.lg.jp/">http://www.town.iwaizumi.lg.jp/</a>		配属地域概要	人口	8,591人	高齢化率	45.35%
問合せ先	所属	岩泉町 農林水産課		面積	992.36km <sup>2</sup>		
	担当者	畠山 進	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	13人	住宅被害 (全壊)	177戸
	電話番号	0194-22-2111(内線:530)		備考	町東部の小本地域に甚大な被害。町全域で風評被害。		
メールアドレス	s.hatakeyama@town.iwaizumi.lg.jp						

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県石巻市 ～

事業名	石巻市中央地区 復興応援隊設置業務	事業実施主体	宮城県石巻市
		関係協力団体	公益社団法人3.11メモリアルネットワーク

概要	東日本大震災に正面から向き合う、主体性を持った住民・地域団体による震災伝承の取り組みを促進し、震災伝承の拠点や活動を核に地域を超えて震災伝承活動でつながるコミュニティの構築に向けた活動を行っている。
----	---

支援員数	2名	活動時期	平成24年12月～
------	----	------	-----------

活動地域	宮城県石巻市中央地区
------	------------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政の復興祈念公園や震災遺構との相乗効果を高めながら市民主体の伝承交流施設「MEET門脇」等を通じて地域や語り部の方々の思いをつなぎ、修学旅行等の受入れ連携により被災地域を震災学習の場へと転換している。</li> <li>● 地域の方々の記憶や実体験に基づく教訓を伝えるARアプリの使用や、オンライン語り部など、ICTを活用した挑戦により新たなつながりを形成している。</li> <li>● 市内の小中学校での復興・防災マップ制作や学習支援が表彰等の成果につながり、災害から命を守れる社会の実現に向けて、世代を超えた継承をサポートしている。</li> <li>● 震災伝承活動でつながるコミュニティの持続可能性を高めるため、災害から命を守る主体的な取り組みの価値や対価性の向上を下支えしている。</li> <li>● 語り部の予約や運営をサポートすることで、語り部が語りに専念でき、より継続的な活動の支えにもなり、また、新たな担い手の発掘にも寄与している。</li> <li>● 地域の避難訓練等に参画し、その地域の特性を把握し、その地で起こり得る災害を認識、共有することで、さらなる防災意識の強化につなげている。</li> </ul>
------	---



ホームページ	<a href="https://311support.com/">https://311support.com/</a>
--------	---

問合せ先	所属	石巻市総務部震災伝承推進室	配属地域概要	人口	96,746人 (本庁地区) (令和4年11月末時点)	高齢化率	32.29% (本庁地区) (令和4年3月末時点)
	担当者	佐藤		面積	137.03km <sup>2</sup> (本庁地区)		
	電話番号	0225-95-1111	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	2,427人 (本庁地区) (令和4年9月末時点)	住宅被害 (全壊)	18,593戸 (本庁地区)
	メールアドレス	isdilore@city.ishinomaki.lg.jp		備考			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県石巻市 ～

事業名	石巻市北上地区復興応援隊	事業実施主体	宮城県石巻市
		関係協力団体	(一社)ウィーアールワン北上

**概要** 被災元地の利活用プロジェクトの企画・創設支援や、震災後の新たな居住区や組織体における地域自治力の強化支援、地域行事及び復興イベント等の開催支援、広報発行やSNS等による地域の情報発信活動等を行っている。

支援員数	3名	活動時期	平成24年12月～
------	----	------	-----------

**活動地域** 宮城県石巻市北上地区

**活動内容**

- 被災元地の利活用
  - ・被災元地活用のガイドラインに沿った被災元地利活用プロジェクトの企画と創設支援
  - ・被災元地利活用の情報発信とニーズの掘り起こしを目的とした起業・創業支援窓口「平地の杜インキュベーションカフェ」の設置運営
- 震災後の新たな居住区や組織体における地域自治力の強化支援
  - ・地域自治組織、自治会等の実情や要望に応じた支援活動
- 地域行事及び復興イベント等の開催支援
  - ・にっこり祭りや太平洋写真学校等の運営支援
- 北上地域の情報発信及び広報
  - ・かわら版発行、地域情報WEB発信、メディア対応、地域情報マップの更新 等



被災元地利活用事業「平地の杜プロジェクト」ワークショップ時写真

<b>ホームページ</b>		<a href="https://www.i-kitakami.com/">https://www.i-kitakami.com/</a>		<b>配属地域概要</b>	人口	2,171人	<b>高齢化率</b>	45.56%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	石巻市北上総合支所地域振興課			面積	60.98km <sup>2</sup>		
	<b>担当者</b>	熊谷 慎二		<b>被災状況</b>	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	201人 (直接死194人、 関連死7人)	<b>住宅被害</b> (全壊)	717棟
	<b>電話番号</b>	0225-67-2111(内線224)						
	<b>メールアドレス</b>	ktlocpromo@city.ishinomaki.lg.jp		<b>備考</b>				

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県石巻市 ～

<b>事業名</b>	石巻市雄勝地区 復興応援隊設置事業	<b>事業実施主体</b>	宮城県石巻市
		<b>関係協力団体</b>	砦上の里おがつ運営協議会

**概要** 石巻市が作成した雄勝地区復興プロジェクト「地域が主役の元気なまちの創造」を支援するため、石巻市と協力して復興応援隊を派遣し、被災地の復興支援を行う。

<b>支援員数</b>	3名	<b>活動時期</b>	平成24年7月～
-------------	----	-------------	----------

**活動地域** 宮城県石巻市雄勝地区

**活動内容**

住民主体のまちづくり「地域が主役の元気なまちの創造」支援

- ①地域活性化活動への支援
  - ・地域の各種イベントへの協力等
- ②地域コミュニティ活動支援
  - ・地域の団体活動への支援等
- ③地域PR活動への支援
  - ・地域コミュニティ紙の作成と配布
- ④雄勝地域拠点エリア活動支援
  - ・道の駅PR活動支援



地域の団体活動への支援等



地域の各種イベントへの協力等

<b>ホームページ</b>		<a href="https://ogatsu-rs.jp">https://ogatsu-rs.jp</a>	<b>配属地域概要</b>	人口	1,068人	<b>高齢化率</b>	約59%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	宮城県石巻市雄勝総合支所地域振興課		面積	46.12Km <sup>2</sup>		
	<b>担当者</b>	今野	<b>被災状況</b>	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	236人(5.5%)	<b>住宅被害</b> (全壊)	1,304世帯
	<b>電話番号</b>	0225-57-2111(内153)					
	<b>メールアドレス</b>	<a href="mailto:oglocpromo@city.ishinomaki.lg.jp">oglocpromo@city.ishinomaki.lg.jp</a>	<b>備考</b>	町の中心部は、618世帯のうち96%が全壊し、人口は約1/4まで激減し、現在の町内居住者は約1,000人となっている。			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

事業名	自治会活動支援事業	事業実施主体	宮城県気仙沼市
		関係協力団体	

**概要**  
 既存自治会の自治組織の運営支援等を行う「地域支援員」を配置。  
 住民同士が互いに支え合う地域づくりに取り組み、コミュニティの維持・振興を図る。  
 また、震災により整備された災害公営住宅や土地区画整理事業区域内等における新しいコミュニティ形成支援を行う。

支援員数	2名	活動時期	平成24年4月～
------	----	------	----------

**活動地域**  
 宮城県気仙沼市内

**活動内容**

- 地域コミュニティ形成等の支援
  - ・防災集団移転団地や災害公営住宅，土地区画整理事業地区の新たな自治組織の設立に向けた代表者会議や住民交流会，コミュニティ形成のための意見交換会等の開催。
  - ・交流の拠点となる集会施設の管理，施設を活用した住民交流活動の企画や運営協力。
  - ・災害公営住宅等を訪問し，生活課題や状況について聞き取り，課題解決に向け関係機関等に繋げる等の支援。
- 自治組織の運営・活性化に係る支援
  - ・自治組織へ交付する市補助金や県等の補助事業の活用相談対応。
  - ・震災により解散した自治組織の活動再開に向けた支援。



住宅再建に伴う自治組織の設立に向けた話し合いの様子

ホームページ		配属地域概要	人口	58,926人	高齢化率	39.9%
問合せ先	所属		震災復興・企画部地域づくり推進課	面積		
	担当者	三浦 博之	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	8,483戸
	電話番号	0226-22-3409		1,218人		
	メールアドレス	<a href="mailto:chiiki@kesenuma.miyagi.jp">chiiki@kesenuma.miyagi.jp</a>	備考	浸水面積：18.65km <sup>2</sup> ，焼失面積：2.48km <sup>2</sup> ，被災事務所：3,314事業所，被災従業者：25,236人		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

<b>事業名</b>	担い手育成支援事業	<b>事業実施主体</b>	宮城県気仙沼市
		<b>関係協力団体</b>	(受託団体) 合同会社colere (コレル)

**概要** 震災前には、まちづくりに参加、参画の少なかった若い世代が、震災を契機としてまちづくりに関わる事例が増えている。こうした意欲ある若い世代が交流・議論する機会をつくとともに、具体的な実践活動のサポートを通じてまちづくりの担い手育成を行う。まちづくりの担い手としての意識の醸成と参画機会の創出を図る。

<b>支援員数</b>	4名	<b>活動時期</b>	平成25年4月～
-------------	----	-------------	----------

<b>活動地域</b>	宮城県気仙沼市内
-------------	----------

**活動内容**

- 「ぬま塾」「ぬまトーク」の実施
  - ・地元の先輩方を講師に招き、先輩たちにとってのライフワークと地域のつながりを知ることにより、若者が地域について学ぶことを目的とする。
- 「ぬま大学」の実施
  - ・半年間のプログラムを通して地域活性化プランを作成するまちづくり実践塾。若者の地域に対する当事者意識を醸成するとともに、企画力の育成等を行っている。
- 「気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード」の実施
  - ・地域に関する課題について、自らのプロジェクトの作成・発表を行う。プロジェクトを磨いていく作業を通し、地域に関心を持ち、地域に貢献したいという意欲を醸成することで、高校生のまちづくりへの参加意識の向上を図る。
- 「ぬま大学ラボ」の実施
  - ・まちづくりを考える若者のつながりを拡大し、まちの課題解決に向けて話し合う連続ワークショップ。立場を超えてつながりを拡大するとともに、気仙沼の未来を考え、課題意識と広い視野を持つ若者の育成とまちづくりの担い手意識の醸成を目的とする。



<b>ホームページ</b>		<a href="http://numa-ninaite.com/">http://numa-ninaite.com/</a>		<b>配属地域概要</b>	<b>人口</b>	58,926人	<b>高齢化率</b>	39.9%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	震災復興・企画部地域づくり推進課			<b>被災状況</b>	<b>面積</b>		332.4km <sup>2</sup>
	<b>担当者</b>	三浦 博之		<b>人的被害</b> (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)		1,218人	(全壊)	
	<b>電話番号</b>	0226-22-3409		<b>備考</b>	浸水面積：18.65km <sup>2</sup> 、焼失面積：2.48km <sup>2</sup> 、被災事務所：3,314事業所、被災従業者：25,236人			
<b>メールアドレス</b>	chiiki@kesenuma.miyagi.jp							

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

事業名	地場産業再生支援事業	事業実施主体	宮城県気仙沼市
		関係協力団体	気仙沼市物産振興協会

**概要** 震災後、就労の場が減少し、人口流出・高齢化が加速した本市において、地域経済の好循環を生み出し、新たな雇用の場を創出することにより、定住環境を整備し、地域コミュニティの再構築につなげるもの。

支援員数	5名	活動時期	令和4年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

**活動地域** 宮城県気仙沼市 他

**活動内容**

- 地場産品のネットショップ等販売支援  
ネットショップ「ホヤぼーやセレクトショップ気仙沼」の企画・運営等を通じ、震災により販路を失った本市地場産品の販売支援を行う。
- 集客・販売促進プロモーション等企画・支援  
・地場産品の販路拡大やPRに向けたイベントの企画及び運営を行う。  
・市内観光施設等への集客に向けた事業の企画や広報、当日の運営等を支援する。




<b>ホームページ</b>		<a href="https://store.shopping.yahoo.co.jp/kesennu-market/">https://store.shopping.yahoo.co.jp/kesennu-market/</a>		<b>配属地域概要</b>	人口	58,926人	<b>高齢化率</b>	39.9%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	産業部産業戦略課			<b>被災状況</b>	面積		
	<b>担当者</b>	近藤 大介		<b>備考</b>		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,218人	<b>住宅被害</b> (全壊)
	<b>電話番号</b>	0226-22-6600(内線523)			浸水面積：18.65km <sup>2</sup> 、焼失面積：2.48km <sup>2</sup> 、被災事業所：3,314 被災従業者：25,236人			
<b>メールアドレス</b>	senryaku@kesenuma.miyagi.jp							

事業名	ICT関連産業推進復興支援員	事業実施主体	宮城県気仙沼市
		関係協力団体	株式会社クロス・スター

**概要** 人口減少対策や新産業創出、地域コミュニティ再生の観点から、地域における課題をITで解決することを目指し、IT企業と市民の橋渡しを行いながら地域に寄り添った復興支援を行う。

支援員数	1名	活動時期	令和4年4月1日～令和5年3月31日
------	----	------	--------------------

**活動地域** 宮城県気仙沼市

**活動内容**

- 市がICT拠点として整備した「ITベース こはらぎ荘」を拠点に、震災や人口減少に伴う地域課題の解決、被災地域における被災者や移住者の新たなコミュニティ形成をICTを活用して支援。
- 「ITベース こはらぎ荘」の入居事業者間のコミュニティ形成を図るため交流会を開催するなど、円滑なネットワークづくりを図った。
- 市民への副業支援及びスキルアップのためITツールを活用したデザイン講座を入居事業者と共催で実施。市内になかった新たな学びの場を提供するとともに、地域課題であった新産業の創出に寄与する取組を行った。



<b>ホームページ</b>		<a href="https://koharagi-ict.com/">https://koharagi-ict.com/</a>		<b>配属地域概要</b>	人口	58,926人	<b>高齢化率</b>	39.9%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	気仙沼市産業戦略課			<b>被災状況</b>	面積		332.4km <sup>2</sup>
	<b>担当者</b>	菅原 祐李枝		<b>備考</b>		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,218人	
	<b>電話番号</b>	0226-22-3432						
	<b>メールアドレス</b>	senryaku@kesenuma.miyagi.jp						

浸水面積：18.65km<sup>2</sup>、焼失面積：2.48km<sup>2</sup>、被災事業所：3,314事業所、被災従業者：25,236人

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 宮城県多賀城市 ～

<b>事業名</b>	被災自治会・町内会再生事業	<b>事業実施主体</b>	宮城県多賀城市
		<b>関係協力団体</b>	

**概要** 住民自治の視点からの復興促進と、市が行う各種復興事業の円滑化を目的として、東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に対し地域支援員を派遣し、住民自治活動の側面支援を行う。市内4つの災害公営住宅の完成後は、自治会の設立や運営支援、その立地地区の町内会を中心に活動。

<b>支援員数</b>	2名	<b>活動時期</b>	平成24年8月1日～
-------------	----	-------------	------------

**活動地域** 宮城県多賀城市内

**活動内容**



災害公営住宅住民同士や地域住民との交流を促進するため、サークル活動の支援を実施。



市内4か所の災害公営住宅自治会に対して、活動の自走化を目指した伴走型の運営支援を実施。



日常的に、地域会合への参加を通じた住民との対話や、まちあるき等を行い、地域課題や資源を掘り起こし、それを「地域支援員だより」として定期的に情報発信。

<b>ホームページ</b>			<b>配属地域概要</b>	<b>人口</b>	62,204人	<b>高齢化率</b>	25.6%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	総務部地域コミュニティ課		<b>面積</b>	19.69km <sup>2</sup>		
	<b>担当者</b>	市民活動推進係 主査 江口 豊	<b>被災状況</b>	<b>人的被害</b> (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	188人	<b>住宅被害</b> (全壊)	1,746戸
	<b>電話番号</b>	022-368-1141 内線212					
	<b>メールアドレス</b>	simin-power@city.tagajo.miyagi.jp		<b>備考</b>	津波の高さ 市内:約4.6メートル 仙台港:約7メートル 市域の約33.7%(桜木、八幡、大代、鶴ヶ谷地区)が浸水		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県東松島市 ～

<b>事業名</b>	東松島市復興まちづくり推進員設置業務	<b>事業実施主体</b>	東松島市
		<b>関係協力団体</b>	一般社団法人 東松島ひとまちネット

**概要** 防災集団移転が完了し、災害公営住宅への入居が進む中、移転地内や公営住宅団地内及びその受入地域が円滑なコミュニティの運営を行えるよう、地域行事や地域自治組織の活動・運営への支援を行う。

<b>支援員数</b>	3名	<b>活動時期</b>	令和4年4月～令和5年3月
-------------	----	-------------	---------------

**活動地域** 宮城県東松島市野蒜、あおい、赤井、小松、大曲、矢本西地区などを中心とする市内全域

**活動内容**

○防災集団移転地である野蒜ヶ丘において、自治会同士の情報共有を図る連絡会に出席し、コロナ禍における自治会運営に関する相談などを受け付けた。

○自治会向け研修会の企画やアンケートを通して地域課題の把握と共有を行うとともに、自治会運営ガイドラインを作成し支援を行った。

○子育て世代や女性の地域コミュニティへの参画意識を醸成することを目的としたサークル「ママサロン」への活動支援を行い、「ママサロン」メンバーが運営するお下がり譲渡会、防災ワークショップ、音楽会等の実施により、子育て中の助成の他団体や様々な世代との交流に寄与した。



【研修会の様子】



【「ママサロン」の様子】

<b>ホームページ</b>		<b>配属地域概要</b>	<b>人口</b>	38,919人	<b>高齢化率</b>	30.52%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>		東松島市総務部市民協働課	<b>面積</b>		
	<b>担当者</b>	自治組織支援係 姉齒	<b>被災状況</b>	<b>人的被害</b> (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	<b>住宅被害</b> (全壊)	5,519戸
	<b>電話番号</b>	0225-82-1111(内線3807)				
	<b>メールアドレス</b>	kyodo@city.higashimatsushima.miyagi.jp	<b>備考</b>	津波浸水面積37km <sup>2</sup> (36%) 建物用地12km <sup>2</sup> のうち浸水面積8km <sup>2</sup> (65%)		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県東松島市 ～

事業名	東松島市復興まちづくり推進員(観光資源整備)設置業務	事業実施主体	東松島市
		関係協力団体	

**概要** 宮城オルレ奥松島コース及び周辺施設の整備や観光客のガイドとして、被災した地域の観光資源を情報発信することにより観光客誘客に繋げ、地域経済の活性化をもって観光復興に寄与する。

支援員数	1名	活動時期	令和4年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

**活動地域** 宮城県東松島市宮戸地区を中心とする市内全域

**活動内容**

○宮城オルレ奥松島コースでの、草刈りや害虫対策をはじめとしたコース整備を行うと共に、観光客用トイレの清掃も合わせて実施した。  
 ○ビーチテニス、カヤック等、地域の観光資源を活かしたアクティビティを普及できるよう環境整備を進め、実践した。  
 ○トレッキングツアー・オルレコース・でのイベント時のガイドなどを通じ、市内外への該当地域の魅力発信を行った。

【オルレ奥松島コースガイド】



【宮戸地区 遊歩道整備】



ホームページ		配属地域概要	人口	38,919人	高齢化率	30.52%
問合せ先	所属		東松島市産業部商工観光課	面積		
	担当者	観光振興係 及川	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	5,519戸
	電話番号	0225-82-1111(内線2166)		1,133名		
	メールアドレス	<a href="mailto:kanko@city.higashimatsushima.miyagi.jp">kanko@city.higashimatsushima.miyagi.jp</a>	備考	津波浸水面積37km <sup>2</sup> (36%) 建物用地12km <sup>2</sup> のうち浸水面積8km <sup>2</sup> (65%)		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県丸森町 ～

事業名	丸森町復興支援委員	事業実施主体	宮城県丸森町	
		関係協力団体	一般社団法人筆甫地区振興連絡協議会	

**概要** 東日本大震災からの地域コミュニティの再構築を図るため、丸森町復興支援員を設置。自治組織の運営支援や地域の魅力発信、地域への移住者の増加をはかる活動、耕作放棄地を活用した営農事業等を行うなどコミュニティ活性化に向けた活動を中心に展開している。

支援員数	1名	活動時期	平成27年4月～令和5年3月
------	----	------	----------------

活動地域	宮城県丸森町筆甫地区
------	------------

活動内容	<p>筆甫地区への移住を進めるため空き家情報の整備や情報発信を行っている。コロナ禍により地域への訪問が難しい現状のためオンライン移住相談なども実施をしている。</p> <p>地区の移住の問い合わせも増えてきており、実際に地区内や空き家を紹介し、移住につながる案件も出てきた。</p> <p>農地の再生を進めるため、耕作放棄地を借りての米作りをR3から開始。R4には面積を拡大して取り組んでいる。</p> <p>農業再生に向けての地区の方々との話し合い等行い、地区内における新たな事業体の設立を目指した活動を行っている。</p> <p>そのほか地域のにぎわいをつくるための交流イベントや援農事業、大学生ボランティアの受け入れなどを行い、地域の活性化に取り組んでいる。</p>	 
------	--	--

ホームページ	<a href="http://www.town.marumori.miyagi.jp/kikakuzaisei/kikaku/hukkousien.html">http://www.town.marumori.miyagi.jp/kikakuzaisei/kikaku/hukkousien.html</a>	配属地域概要	人口	465人	高齢化率	59.78%
			面積	74.02km <sup>2</sup>		

問合せ先	所属	宮城県丸森町企画財政課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	0名	住宅被害 (全壊)	0戸
	担当者	佐藤 鈴花					
	電話番号	0224-72-3024					
	メールアドレス	sousei@town.marumori.miyagi.jp					

備考	震災後、福島県との境に位置する本町では、原発事故への対応や風評被害等が課題となり、以前に増して過疎化・高齢化に拍車がかかっている。
----	---

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県丸森町 ～

事業名	丸森町復興支援員	事業実施主体	宮城県丸森町		
		関係協力団体	農事組合法人 丸森町酪農振興組合		

概要	東日本大震災からの畜産業の再構築を図るため、町営牧場に丸森町復興支援員を設置し、牧場運営の効率化、新技術の導入を展開している。				
----	---	--	--	--	--

支援員数	1名	活動時期	令和2年4月～令和5年3月		
------	----	------	---------------	--	--

活動地域	宮城県伊具郡丸森町				
------	-----------	--	--	--	--

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸森町酪農振興組合が運営する丸森町町営放牧場において、健康な後継牛育成のために、預託者との信頼関係を築きながら、適正な草地管理、飼養管理を行い、酪農家の負担軽減となる活動を行った。</li> <li>令和3年5月に新設された「子牛育成センター」に従事して、子牛育成に不可欠なTMR(適正な配合飼料)の推進や健全な運営のための知識の習得、技術の向上を図った。</li> <li>11月6日に開催された「丸森町畜産共進会」にも参加し円滑な審査進行がなされるよう協力した。</li> </ul>				
	 <p>預託牛の飼養管理活動</p>		 <p>丸森町畜産共進会</p>		

ホームページ		配属地域概要	人口	12,192人	高齢化率	43.8%
問合せ先	所属		宮城県丸森町農林課	面積		
	担当者	木皿 理	被災状況		住宅被害	1戸
	電話番号	0224-72-2113	人的被害 (死亡者：身元判明者 +死亡認定者)		0人	
	メールアドレス	nosei@town.marumori.miyagi.jp	備考		震災後、福島県との境に位置する本町では、原発事故への対応や風評被害等が課題となり、以前に増して過疎化・高齢化に拍車がかかっている。	

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県丸森町 ～

事業名	丸森町復興支援員	事業実施主体	宮城県丸森町
		関係協力団体	農産物直売所 あがらいん伊達屋

**概要** 東日本大震災からの地域コミュニティの再構築を図るため、丸森町復興支援員を設置し、主に農産物直売所の運営支援や地域資源を用いた新たな加工品開発をしている。

支援員数	1名	活動時期	令和2年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

**活動地域** 宮城県伊具郡丸森町耕野地区

**活動内容**

- ・県内有数のタケノコの産地復興のために、生産者と連携し販売活動を展開した。
- ・地域に密着した農産物直売所として、住民目線に立ったイベントを提案。
- ・地元産の天日干し米を使用したこだわりの草餅を販売し、好評を博した。
- ・都市部の住民向けに「ふるさと便」としてPRし、直売所を通じた交流を深めた。
- ・地元に伝わる「耕野漬」の商品化を目指し、地元の方々と試作を重ねている。
- ・地域の方の知恵と工夫を取り入れ、直売所に軽食コーナーを設置した。



タケノコの販売活動



耕野漬(試作品)



こだわりの草餅の販売



軽食コーナーの設置

ホームページ		配属地域概要	人口	542人	高齢化率	51.3%
問合せ先	所属		宮城県丸森町農林課	面積		
	担当者	木皿 理	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者 +死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	0戸
	電話番号	0224-72-2113		備考	震災後、福島県との境に位置する本町では、原発事故への対応や風評被害等が課題となり、以前に増して過疎化・高齢化に拍車がかかっている。	
	メールアドレス	nosei@town.marumori.miyagi.jp				

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県① ～

<b>事業名</b>	福島県復興支援(専門)員		<b>事業実施主体</b>	福島県			
			<b>関係協力団体</b>	①(一社)ふくしま連携復興センター ②特定非営利活動法人あぶくま地域づくり推進機構			
<b>概要</b>	①復興支援員等のサポートや復興関連施策の企画立案等 ②阿武隈地域の帰還促進、帰還者のコミュニティづくりの支援等						
<b>支援員数</b>	①4名 ②3名		<b>活動時期</b>	①平成26年3月～、②平成27年4月～			
<b>活動地域</b>	①福島県全域、②阿武隈地域						
<b>活動内容</b>	<p><b>①復興支援専門員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>復興支援員等のスキルアップやネットワーク構築、連携強化を目的とした研修会等の開催、情報発信等による活動の活性化支援</li> <li>地域の支援ニーズの把握等</li> </ul>						
	<p><b>②復興支援員(阿武隈地域復興)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域間連携交流事業の実施、避難指示解除区域へ帰還促進のための交流事業の開催、地域情報の発信等</li> </ul>						
			 <p>県内で活動する復興支援員等のスキルアップや連携を図るための研修会の開催</p>				
			 <p>阿武隈地域の事業者間の連携強化、風評払拭等を図るイベントの開催</p>				
<b>ホームページ</b>	http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/		<b>配属地域概要</b>	<b>人口</b>	1,787,126人 (R4.12.1)	<b>高齢化率</b>	32.9% (R4.12.1)
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	福島県企画調整部地域振興課		<b>面積</b>	13,784km <sup>2</sup>		
	<b>担当者</b>	佐藤 博昭	<b>被災状況</b>	<b>人的被害</b> (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	4,166人	<b>住宅被害</b> (全壊)	15,469棟
	<b>電話番号</b>	024-521-7118					
	<b>メールアドレス</b>	tiikishinkou@pref.fukushima.lg.jp	<b>備考</b>				

<b>事業名</b>	福島県復興支援(専門)員	<b>事業実施主体</b>	福島県
		<b>関係協力団体</b>	③福島大学地域未来デザインセンター ④埼玉県労働者福祉協議会 ほか8団体
<b>概要</b>	③避難市町村の現状や課題等を把握し、帰還促進事業、教育環境整備及び営農再開における支援が必要な事項について、解決に向けた取組を行う。 ④県外へ避難する県民のコミュニティ構築や戸別訪問等相談対応等		
<b>支援員数</b>	③延べ11名(定員10名) ④43名	<b>活動時期</b>	③平成27年4月～、④平成26年11月～
<b>活動地域</b>	③避難12市町村(南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、田村市、川俣町) ④埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、山形県、新潟県		
<b>活動内容</b>	③復興支援専門員(避難地域復興) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村職員や学校間での意見交換会等の交流機会の提供</li> <li>・避難市町村を対象とした情報誌の発行</li> <li>・学習ワークショップの開催</li> <li>・被災地スタディツアーの実施</li> </ul>		
	④復興支援員(県外8都県へ配置) <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難者への戸別訪問等による見守り、ケア等を行う。</li> </ul>		
		戸別訪問の様子	
			大学生を対象としたスタディツアーの様子
			小学校での音楽ワークショップの様子

事業名	福島県復興支援(専門)員	事業実施主体	福島県
		関係協力団体	⑤(株)野生動物保護管理事務所

**概要** ⑤帰還住民や一時帰宅住民のコミュニティの再構築を図るため、避難12市町村の個別計画に基づいた鳥獣被害対策に係る住民の合意形成の推進等を支援する。

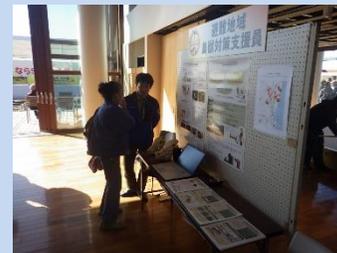
支援員数	⑤6名	活動時期	⑤平成30年4月～
------	-----	------	-----------

**活動地域** ⑤避難12市町村(南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、田村市、川俣町)

**活動内容** ⑤復興支援員(避難地域鳥獣対策支援員)  
 ○支援員は担当市町村におけるイノシシ等の出没情報、痕跡情報、被害状況等の情報収集を行い、その情報をGISに入力して「見える化」し地域住民による話し合いのきっかけとして活用されている。



住民勉強会の開催



地域イベントでの広報発動

○侵入防止柵設置の技術指導や住民勉強会開催のコーディネート、資料づくりなど、専門的知識をいかした鳥獣被害対策をとおして避難12市町村の地域コミュニティ再構築に取り組んでいる。



ワイヤーメッシュ柵(被害防止柵)設置の技術指導

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県相馬市 ～

事業名	相馬市復興支援員事業	事業実施主体	福島県相馬市
		関係協力団体	相馬市観光協会

**概要** 相馬市の復興を加速させるとともに、よりきめ細やかな事業を実施していくため、地元の旅館業組合やNPO法人等が主体となって行う観光交流人口拡大のための活動の支援や各種ツアーコーディネートを行っている。

支援員数	4名	活動時期	令和4年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

活動地域	福島県相馬市
------	--------

**活動内容**

松川浦県立自然公園はじめ、当市の観光資源は震災により甚大な被害を受けた。

現在、地元の旅館業組合やNPOが中心となり、観光業の復興を図るため、被災地視察ツアーや新たなスポーツ・ツーリズムの取り込みに向けた活動を行っており、復興支援員はそのコーディネーターとして、各種ツアーの受け入れ調整や、相馬市の新たな観光資源を活用したPR業務等を行っている。

特に被災地視察ツアーでは、震災の記録や震災語り部による体験談をとおして、経験した教訓を正確に次世代に伝え、安心・安全なまちづくりや防災教育、交流人口の拡大に繋げている。



被災地視察ツアーで来訪者へ説明する復興支援員(上)と実体験を語る震災語り部(下)

ホームページ		<a href="http://www.city.soma.fukushima.jp/">http://www.city.soma.fukushima.jp/</a>		配属地域概要	人口	33,355人	高齢化率	32.36%
問合せ先	所属	相馬市 企画政策課			面積	197.79km <sup>2</sup>		
	担当者	鈴木 洋平		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	458人	住宅被害 (全壊)	1,097戸
	電話番号	0244-37-2131						
	メールアドレス	K-kikaku@city.soma.lg.jp		備考				

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県田村市 ～

事業名	田村市復興支援員	事業実施主体	福島県田村市
		関係協力団体	NPO法人くらすタ

概要	住民が主体的に自立した地域運営に関わることができる、支え合い・共助の仕組みづくりをサポートする活動		
----	---	--	--

支援員数	6名	活動時期	令和4年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

活動地域	福島県田村市都路地区および市内全域		
------	-------------------	--	--

活動内容	<p>【支え合いのサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、人手不足が加速する地域において、公的サービスに依存するだけではなく、「自分たちでできることは自分たちで」行えるよう、高齢者の見守りや交流サロンの開設などを手伝い、長く運営できるためのチームビルディング支援(論理的な目的の設定、合意形成の取り方等)を行っている。</li> </ul> <p>【地域のあるもの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・存在はするが活用され難かった特産品、伝統文化、新規ビール工場などの地域内外への発信・プロデュースを行い、それに関わる人口を増やしている。</li> </ul> <p>【住民が活躍できる場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産物直売、住民交流、高齢者の見守りなどを行う拠点を整備し、住民共助や地域振興活動を支える多機能スペースを住民との協働により作っている。</li> </ul>		
			<p>◀交流の場 つくりの為 の意見交換 会の様子</p>

ホームページ	<a href="http://tamura-ouentai.org/">http://tamura-ouentai.org/</a>		配属地域 概要	人口	33,966人	高齢化率	37.27%
--------	---	--	------------	----	---------	------	--------

問合せ先	所属	福島県田村市 企画調整課	被災状況	面積	458.33km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	19戸 (全壊)
	担当者	吉田 祐		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	14人 (災害関連死)		
	電話番号	0247-61-7615	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内避難者124人、県外避難者33人</li> <li>※人口：令和4年12月末、避難者：令和4年12月末現在</li> </ul>			
	メールアドレス	kikaku@city.tamura.lg.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県南相馬市 ～

事業名	小高区街なか賑わい創出事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	

**概要** 東京電力福島第一原子力発電所事故から5年4か月もの長きにわたって避難指示が出されていた南相馬市小高区に、多世代の交流による賑わいを取り戻すとともに、地域の活性化を図り、小高の復興・再生を実現するため、復興の拠点となる施設を運営し、地域コミュニティを再構築し、「持続可能なまち」となることを目指す。

支援員数	1名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

**活動地域** 福島県南相馬市小高区

**活動内容** 地域住民が主体となって失われた「人とのつながり」「地域のつながり」「人との交流」を取り戻すため、多世代の住民が集い、地域を越えた交流を図る場を創出するための拠点施設の運営に当たって、住民参加型（行政区、商工業者、地域住民等）の施設運営による課題解決の検討と実践、施設の管理・活用計画の策定を支援し、課題を共有しながら、一緒にその課題解決に取り組むことにより、福島第一原子力発電所事故で失われた地域コミュニティの再構築を図っていく。



ホームページ	<a href="http://www.city.minamisoma.lg.jp">http://www.city.minamisoma.lg.jp</a>		配属地域概要	人口	58,703人	高齢化率	36.2%
--------	---	--	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	南相馬市 小高区 地域振興課	被災状況	面積	398.58km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	担当者	五十嵐 竜也		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,156人		
	電話番号	0244-32-1124	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外避難者：4,180人(うち福島県外2,530人)</li> <li>・旧避難指示解除日：平成28年7月12日</li> <li>・一部、帰還困難区域あり。</li> </ul>			
	メールアドレス	o-chiikishinko@city.minamisoma.lg.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市 ～

事業名	観光振興事業 物産振興事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	一般社団法人南相馬市かしま観光協会

**概要** 東日本大震災、福島第一原子力事故からの復興のため、地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に向けた活動を中心に展開している。

支援員数	2名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

**活動地域** 福島県南相馬市鹿島区

**活動内容** 観光協会員や関係団体等と協同し、震災前から地域コミュニティに根差してきた祭りやイベントの再興、地元産完熟和梨を使用した100%和梨ジュースの物販や新たな地元特産品の開発・風評払拭PR活動、区内の山を使った花いっぱい運動を住民ボランティアと一緒にするなど、地域のつながりや地元住民すべてが情報を県内外へ発信できるような環境づくりなど地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に繋がる活動を行っている。



ホームページ	<a href="http://kashima-kankou.jp/">http://kashima-kankou.jp/</a>	配属地域概要	人口	58,703人	高齢化率	36.2%
			面積	398.58km <sup>2</sup>		

問合せ先	所属	南相馬市 鹿島区 地域振興課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,156人	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	担当者	西 昇					
	電話番号	0244-46-2110	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外避難者：4,180人(うち福島県外2,530人)</li> <li>・旧避難指示解除日：平成28年7月12日</li> <li>・一部、帰還困難区域あり。</li> </ul>			
	メールアドレス	k-chiikishinko@city.minamisoma.lg.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市 ～

事業名	地域コミュニティ再生支援事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	鹿島商工会

**概要** 東日本大震災、福島第一原子力事故による南相馬市鹿島区の復興に伴う地域力の再生・維持・強化に資する活動を鹿島商工会を通じて行うことにより、地域コミュニティの再構築を図る。

支援員数	1名	活動時期	令和元年11月～
------	----	------	----------

**活動地域** 福島県南相馬市鹿島区

**活動内容** 鹿島商工会を通じて、各種施策等の情報提供及び相談受付、各種調査及び集計業務、セミナー開催補助、地域イベントの運営補助など地域活動に参加することにより、地域の課題を整理し、新たな地場産品・土産品の開発及び販売促進など、鹿島区内の商工業者を支援し、地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に資する。



南相馬市花火打上げ事業  
市内4カ所  
鹿島区烏崎字牛島地内

鹿島商工会創立60周年  
記念式典

南相馬市消費喚起応援事業  
応募はがき抽選会

ホームページ	<a href="http://kashima-kankou.jp/">http://kashima-kankou.jp/</a>		配属地域 概要	人口	58,703人	高齢化率	36.2%
--------	---	--	------------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	南相馬市 鹿島区 地域振興課
	担当者	西 昇
	電話番号	0244-46-2110
	メールアドレス	k-chiikishinko@city.minamisoma.lg.jp

被災状況	面積	398.58km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,156人		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外避難者：4,180人(うち福島県外2,530人)</li> <li>・旧避難指示解除日：平成28年7月12日</li> <li>・一部、帰還困難区域あり。</li> </ul>			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市 ～

事業名	観光振興事業 物産振興事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	一般社団法人南相馬観光協会

**概要** 東日本大震災、福島第一原子力発電所事故からの復興のため、地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に向けた活動を中心に展開している。

支援員数	2名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

**活動地域** 福島県南相馬市

**活動内容**

- ・南相馬観光協会公式キャラクター「未馬」を用いて地元菓子店とのコラボやSNSでイベントの企画、運営を行った。
- ・地元の観光地や飲食店、馬事文化を幅広く周知するため、instagram等のSNSを用いて、こまめな情報発信に努めた。
- ・地元住民の活動による観光ボランティアガイドを、適切な新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施をした。
- ・南相馬市の風評払拭のため、地元業者や生産者と協力し、首都圏を中心とするイベントで地域特産品の販路拡大・販売促進を目的とした、物産販売やPR活動等を実施した。
- ・各地で行われている物産販売に参加し、特産品の販売と観光PR活動を行った。
- ・市外への観光PRを円滑に行うために、野馬追グッズやノベルティを作成した。





<b>ホームページ</b>		<a href="http://minamisomakanko.org/">http://minamisomakanko.org/</a>		<b>配属地域概要</b>	人口	58,703人	<b>高齢化率</b>	36.2%
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	南相馬市 経済部 観光交流課			面積	398.58km <sup>2</sup>		
	<b>担当者</b>	佐藤 香穂		<b>被災状況</b>	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,156人	<b>住宅被害</b> (全壊)	1,277世帯
	<b>電話番号</b>	0244-24-5263						
	<b>メールアドレス</b>	kankokoryu@city.minamisoma.lg.jp		<b>備考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外避難者：4,180人(うち福島県外2,530人)</li> <li>・旧避難指示解除日：平成28年7月12日</li> <li>・一部、帰還困難区域あり。</li> </ul>			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県南相馬市 ～

事業名	まちづくり市民活動 団体支援事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	南相馬市市民活動サポートセンター

**概要** 南相馬市内で公益的で非営利な活動している団体を支援するセンターです。市民・行政・NPO法人・企業など、多様な人と情報が活発に往来し、さらなる情報の受発信を行い、震災後のコミュニティ再構築に向け、出会いや学びの機会づくりに取り組んでいます。

支援員数	2名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域	福島県南相馬市
------	---------

**活動内容** 南相馬市内では多くの市民活動団体が活動を行っています。また南相馬市においてもこれまで協働研究会や補助によって市民活動推進に向けた取り組みを行ってきました。東日本大震災以降、コミュニティの再構築における、市民活動の必要性・ニーズが高まり、継続的な活動が強く求められています。南相馬市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体へスキルアップ支援、情報の受発信、設備の提供や各種講座や交流会の開催を行い、市民が自ら取組む地域のコミュニティの再生・活性化を支援しています。



ホームページ	<a href="http://saposen.net/">http://saposen.net/</a>	配属地域概要	人口	58,703人	高齢化率	36.2%
--------	---	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	南相馬市 復興企画部 コミュニティ推進課	被災状況	面積	398.58km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	担当者	馬場 政彦		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,156人		
	電話番号	0244-24-5411	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外避難者：4,180人(うち福島県外2,530人)</li> <li>・旧避難指示解除日：平成28年7月12日</li> <li>・一部、帰還困難区域あり。</li> </ul>			
	メールアドレス	commusui@city.minamisoma.lg.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県南相馬市 ～

事業名	観光人口事業 物産振興事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	小高観光協会

**概要** 震災前から地域に根差してきた採点やイベントなどの再興、新たな地域資源を発掘して情報を発信するなど、地域力の再生・維持・強化に資する活動を通じて、帰還者に移住者を加えた地域コミュニティの再構築を目指した活動をしています。

支援員数	1名	活動時期	令和3年4月～
------	----	------	---------

**活動地域** 福島県南相馬市小高区

**活動内容** 南相馬市小高区の観光推進による地域おこし活動支援として

- ・小高観光協会等が行う観光PRブースへの出展
- ・イベントの運営補助
- ・HPの更新
- ・観光資源調査、観光物産品、土産品の開発及び販売促進
- ・新たな観光事業の企画開発
- ・そのほか復興に伴う地域協力活動に関して必要な業務

南相馬市観光物産復興PR事業  
愛知県知多市産業まつり



イルミネーション  
制作教室



ホームページ	https://odaka-kanko.jp		配属地域 概要	人口	58,703人	高齢化率	36.2%
--------	------------------------	--	------------	----	---------	------	-------

問合せ 先	所属	南相馬市 小高区地域振興課
	担当者	渡部 雅美
	電話番号	0244-44-6718
	メールアドレス	o-chiikishinko@city.minamisoma.lg.jp

被災状況	面積	398.58km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,156人		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外避難者：4,180人(うち福島県外2,530人)</li> <li>・旧避難指示解除日：平成28年7月12日</li> <li>・一部、帰還困難区域あり。</li> </ul>			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県檜葉町～

事業名	檜葉町復興支援員	事業実施主体	福島県檜葉町
		関係協力団体	一般社団法人ならはみらい

**概要** 地域に根差したコミュニティ主体の復興を進めるため、復興支援員を設置し、「ならは応援団」及び「なにかし隊」へのサポートや各種団体の視察受け入れ、町の各種団体からなる横断的な組織の設置、花植えによる行政区活性化など、町民が主体となったまちづくりを中心に活動を行っている。

支援員数	4名	活動時期	令和4年4月1日から令和5年3月31日
------	----	------	---------------------

活動地域	福島県檜葉町
------	--------

**活動内容**

- 町民活動活性化事業  
地域コミュニティの再生に向けた花とみどりプロジェクトや居住地域をベースとしたまちづくりサポートなど、町民主体のまちづくりを促進する
- 関係人口拡大事業  
町の復興に対する共感・応援を募る「ならは応援団」、ふるさと檜葉のために何かしたいという思いを持つ町民組織「なにかし隊」のサポートや町内でのボランティア活動等(主に学生)の継続的な活動のための活動拠点「みらいハウス」の運営など、町と継続的に関わる人と地域を繋げる
- 組織間連携事業  
町内・町外の組織同士が継続的に連携し、相互に利益をもたらす活動を目指す



ホームページ	<a href="https://www.town.naraha.lg.jp">https://www.town.naraha.lg.jp</a>		配属地域概要	人口	6,648人	高齢化率	35%
問合せ先	所属	政策企画課		面積	103.4m <sup>2</sup>		
	担当者	三浦 哲弥	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	153人	住宅被害 (全壊)	147戸
	電話番号	0240-23-6103		備考			
	メールアドレス	kikaku-n@town.naraha.lg.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県双葉郡富岡町 ～

事業名	富岡町復興支援員	事業実施主体	福島県富岡町
		関係協力団体	一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会

**概要**  
 東日本大震災及び東京電力㈱福島第一原子力発電所事故による避難指示により、全町民が全国各地へ避難を余儀なくされた。一部地域を除き避難指示が解除されたが今も尚、町外において生活を送っている。  
 特に県外避難者はコミュニティ形成が難しいため、孤立してしまうことのないよう埼玉県に復興支援員を配置し、避難者の課題把握や交流事業によりコミュニティ形成を図っている。

支援員数	4名	活動時期	平成27年1月～
------	----	------	----------

活動地域	全国
------	----

**活動内容**

- 高齢者などを対象とした「戸別訪問」や避難先支援団体等との連携により、避難者の生活状況や困りごとを確認することで、自身では解決できない課題を行政へ提供するなどし、原発避難者特例法において避難先自治体で提供される支援メニューへ繋げている。
- 避難先から富岡町で行われる祭りなどへの「バスツアー」を企画し、古里との繋がり維持や参加者同士の新たな交流によるコミュニティ形成を図っている。
- 「支援員だより」を作成し、全戸配布される広報紙への同封を行っている。同じ県外避難者の生活再建の様子や支援団体の情報を掲載に取り組んでいる。



平成31年開催東京湾クルージング交流会の様子

ホームページ	<a href="https://www.tomioka-town.jp/">https://www.tomioka-town.jp/</a>	配属地域概要	人口	11,734人	高齢化率	28.9%
--------	---	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	富岡町 住民課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	24人	住宅被害 (全壊)	418戸
	担当者	大作 幸一					
	電話番号	0240-22-9000	備考	H23.3 避難指示(町全域) H29.4 帰還困難区域を除いて避難指示が解除 避難状況(R5.1.1現在)：県内(町外)7,823人、県外1,817人			
	メールアドレス	tom1000-0@tomioka-town.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県双葉郡富岡町 ～

事業名	富岡町住民主体の まちづくり復興支援員設置業務	事業実施主体	福島県富岡町
		関係協力団体	一般社団法人とみおかプラス

**概要** 町の未来を担う人材の確保・発掘・育成、町に安全や安心、元気をもたらす共助や協働の仕組みづくり、町外から町に関われる交流・つながりの仕組みづくり及び町に新たな魅力を生み出す取組など、住民主体のまちづくりを支援する取組を展開している。

支援員数	3人	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

**活動地域** 福島県富岡町

**活動内容**

- 「自助・共助による防災」について考えるイベント「防災ラボ」を企画・運営し、住民の交流機会の創出やつながりの維持を図るなどにより、地域コミュニティの再生に取り組んでいる。
- 桜並木のライトアップ、夏祭りなどの地域行事の再開や市民農園の運営等町外に避難する町民が町を訪れる機会を創出し、町や住民同士のつながり及び地域コミュニティの維持に取り組んでいる。
- 地域住民が主体となって行う地域活動を支援し、地域コミュニティの維持・形成やコミュニティ団体の拡大に取り組んでいる。



<b>ホームページ</b>		<a href="https://tomioka-plus.or.jp/">https://tomioka-plus.or.jp/</a>		<b>配属地域概要</b>	人口	11,734人	<b>高齢化率</b>	28.9%
					面積	68.39km <sup>2</sup>		
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	企画課		<b>被災状況</b>	<b>人的被害</b> (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)		<b>住宅被害</b> (全壊)	418戸
	<b>担当者</b>	高井 勇生			24人			
	<b>電話番号</b>	0240-22-9010						
	<b>メールアドレス</b>	tom0200-0@tomioka-town.jp		<b>備考</b>	H23.3 避難指示(町全域) H29.4 帰還困難区域を除いて避難指示が解除 避難状況(R5.1.1現在): 県内(町外)7,823人、県外1,817人			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県大熊町 ～

事業名	大熊町復興支援員事業	事業実施主体	福島県大熊町
		関係協力団体	一般社団法人おおくままちづくり公社

**概要** 原発事故により福島県内外に分散して避難生活を送る町民向けに、町政や町民のコミュニティ活動の情報を発信したり、町民主体の交流活動を支援したりするなど、離れていても大熊町とのつながりを感じてもらうための活動をしている。

支援員数	2名	活動時期	令和4年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

**活動地域** 大熊町内及び福島県いわき市等を中心に町民が避難する全国各地

**活動内容** まちづくり公社の復興支援員は、大熊町民のコミュニティ形成支援を担当している。震災後、県内外の避難先で発足した町民コミュニティ団体が開催するイベントなどの運営・企画等を支援している。また、町内で行われる年4回のイベントにおおくまコミュニティづくり実行委員会の事務局として、企画・運営等に携わっている。2022年6月に町中心部の避難指示解除に伴い、各種イベントを通じて町内コミュニティ支援を実施することで、町と町民もしくは町民同士のつながりを維持することに貢献している。



ホームページ	<a href="https://www.town.okuma.fukushima.jp/">https://www.town.okuma.fukushima.jp/</a>		配属地域概要	人口	10,015人	高齢化率	28.6%
問合せ先	所属	大熊町生活支援課		面積	78.71km <sup>2</sup>		
	担当者	品田 風香	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	12人(直接死)	住宅被害 (全壊)	310棟
	電話番号	0240-23-7444					
	メールアドレス	<a href="mailto:seikatushien@town.okuma.fukushima.jp">seikatushien@town.okuma.fukushima.jp</a>		備考	避難状況 (R4.12.1現在) 県内7,748人、県外2,268人 町内居住推定940人(うち帰還者172人) ※住民登録のない居住者を含む		

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県双葉町～

<b>事業名</b>		復興まちづくり支援業務		<b>事業実施主体</b>		福島県双葉町							
				<b>関係協力団体</b>		一般社団法人ふたばプロジェクト							
<b>概要</b>	双葉町内に復興支援員を設置し、JR双葉駅周辺での総合案内・サポート業務を含めた情報・魅力発信事業や、イベントの企画・支援等を通じた町の魅力向上及び帰還意欲向上に資する取り組みを行っている。												
<b>支援員数</b>		3名		<b>活動時期</b>		平成31年4月～							
<b>活動地域</b>		福島県双葉町											
<b>活動内容</b>		<p>○双葉駅周辺での総合案内・サポート業務 全町避難が続く町への来訪者に対する総合案内や町内の案内などを通じた情報・魅力発信</p> <p>○町の魅力向上・情報発信支援業務 SNSを通じ、イベント情報や町の「今」を発信</p> <p>○復興イベント・交流会の企画・運営支援業務 まちあるきツアーの実施や花植えなどの町内環境整備、ふたばファンクラブ運営支援業務、ライトアップイベントなどを通じて町の魅力向上を図る</p>											
<b>ホームページ</b>		https://futaba-pj.or.jp/		<b>配属地域概要</b>		<table border="1"> <tr> <td>人口</td> <td>5,536人 (R4.12月現在)</td> <td rowspan="2"><b>高齢化率</b></td> <td rowspan="2">37.70% (R4.12月現在)</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>51.42km<sup>2</sup></td> </tr> </table>		人口	5,536人 (R4.12月現在)	<b>高齢化率</b>	37.70% (R4.12月現在)	面積	51.42km <sup>2</sup>
人口	5,536人 (R4.12月現在)	<b>高齢化率</b>	37.70% (R4.12月現在)										
面積	51.42km <sup>2</sup>												
<b>問合せ先</b>	<b>所属</b>	復興推進課		<b>被災状況</b>	<table border="1"> <tr> <td>人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)</td> <td>179人 (R4.12月現在)</td> <td rowspan="2"><b>住宅被害</b> (全壊)</td> <td rowspan="2">325棟 (調査未完了)</td> </tr> </table>		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	179人 (R4.12月現在)	<b>住宅被害</b> (全壊)	325棟 (調査未完了)			
	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	179人 (R4.12月現在)	<b>住宅被害</b> (全壊)		325棟 (調査未完了)								
	<b>担当者</b>	武藤 久実											
	<b>電話番号</b>	0240-33-0127		<b>備考</b>	令和4年8月30日付けで特定復興再生拠点区域全域の避難指示が解除されたことにより、町内の一部区域において居住が可能となった。								
<b>メールアドレス</b>	fukko@town.futaba.fukushima.jp												



「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県双葉町 ～

事業名	双葉町復興支援員事業	事業実施主体	福島県双葉町
		関係協力団体	一般社団法人ONE福島

**概要** 東日本大震災及び原発事故により福島県内外で避難生活している双葉町民のコミュニティ維持・発展のため、福島県いわき市に拠点を置き、町民同士のきずなの維持・発展等を図るコミュニティ支援、町民活動の動画撮影取材・情報発信による映像等制作支援、コミュニティ紙発行による広報支援を実施している。

支援員数	4名	活動時期	平成25年8月～
------	----	------	----------

**活動地域** 福島県全域、及び避難者が多い関東圏、宮城県、新潟県など

**活動内容**

- コミュニティ支援
  - ・町民のニーズをヒアリングしながら支援策等を検討し、交流に向けたサポートを実施している。将来的には町民自らが自主的に活動できるように町民と協働しながら支援活動に取り組んでいる。
- 映像等制作支援
  - ・町の動きや町民の活動の様子などを動画撮影取材し、制作した映像を定期的にYouTubeで情報発信している。町の状況や町民の様子を伝えることで、町民と町をつなげ、町全体の活性化を促すよう取り組んでいる。
- 広報支援
  - ・町民の主体的な活動などを取材・制作し、コミュニティ紙「つなげよう つながろう ふたばのわ」(毎月1回)を発行している。また、町公式ブログを活用するなどコンテンツの充実化にも取り組んでいる。



町民ヒアリングの様子



ブログふたばのわ



町民活動取材の様子



コミュニティ紙

ホームページ	<a href="https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp">https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp</a>		配属地域概要	人口	5,536人 (R4.12月現在)	高齢化率	37.70% (R4.12月現在)
				面積	51.42km <sup>2</sup>		

問合せ先	所属	秘書広報課 / 住民生活課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	179人 (R4.12月現在)	住宅被害 (全壊)	325棟 (調査未完了)
	担当者	柘植 美涙 / 田村 岳弘		備考	令和4年8月30日付けで特定復興再生拠点区域全域の避難指示が解除されたことにより、町内の一部区域において居住が可能となった。		
	電話番号	0246-84-5200					
	メールアドレス	hisyo-koho@town.futaba.fukushima.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県浪江町 ～

事業名	浪江町復興支援員事業	事業実施主体	浪江町
		関係協力団体	浪江町社会福祉協議会

概要	全国に避難している町民を対象として戸別訪問活動・交流事業支援を通じて絆づくりと生活再建支援を行っている。
----	--

支援員数	8名	活動時期	令和4年4月～令和5年3月
------	----	------	---------------

活動地域	浪江町民の避難先市区町村
------	--------------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国に避難中の浪江町民を対象として、戸別訪問活動・交流事業支援等を通じて支援を継続している。</li> <li>・福島県内を中心に東北地区・関東地区を主たる活動場所としている。</li> <li>・福島地区6名・関東地区2名、計8名を配置している。</li> <li>・郡山交流館にて概ね月1回、福島交流館・いわき交流館及びその他の場所にて2か月に1回の頻度で交流会を開催している。</li> </ul> <p>※交流活動において女性参加者に偏りがちであることを鑑み、今年度は男性が参加しやすい内容を考慮したうえで、ピンポンゴルフを開催した(右写真)。</p>	
------	--	---

ホームページ	<a href="http://www.town.namie.fukushima.jp//">http://www.town.namie.fukushima.jp//</a>	配属地域概要	人口	住基台帳上 15,633人 町内居住人口 1,934人 (R4.12月末現在)	高齢化率	住基台帳上 39.6% 町内居住人口 40.4% (R4.12月末現在)
			面積	223.14km <sup>2</sup>		

問合せ先	所属	介護福祉課 避難生活支援係	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者) 182人 震災関連死442人 (R4.11月末現在)	住宅被害 (全壊) 244戸(罹災判定) (R4.11月末現在)
	担当者	遠藤 真知子			
	電話番号	0240-34-0260			
	メールアドレス	namie18050@town.namie.lg.jp			

		備考	
--	--	----	--

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県葛尾村 ～

事業名	葛尾村復興支援員	事業実施主体	福島県葛尾村			
		関係協力団体	一般社団法人葛尾むらづくり公社			

**概要** 被災地を一体的に支援できるよう復興支援員を配置し、村民同士がつながり・絆を深めるための活動や地場産品の販売支援などを通じ、賑わいと活力ある村づくり、コミュニティ活性化に資する活動を展開している。

支援員数	5名	活動時期	平成30年4月～令和5年3月			
------	----	------	----------------	--	--	--

**活動地域** 福島県双葉郡葛尾村全域

**活動内容** 全村避難からの復興のシンボルとして建設した「葛尾村復興交流館あぜりあ」は、村民同士が交流できる場、地場産品等村内の情報発信の場となるよう、その運営を復興支援員が所属する葛尾むらづくり公社が担っている。復興支援員は、その運営を通じ村民同士がつながり・絆を深め、村全体の賑わいや活力につながるよう活動を行っている。

また、村民が触れ合う機会創出の場として「あぜりあ市」を6月、ツールド・かつらおと併せ11月にも開催のほか「行政区バス旅行」など様々なイベントの企画・運営を行なっている。葛尾村PRとして村外での物販活動も精力的に行っている。



ホームページ	<a href="https://www.katsurao-kosya.or.jp">https://www.katsurao-kosya.or.jp</a>		配属地域概要	人口	1,335人	高齢化率	41.30%
--------	---	--	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	葛尾村 復興推進室
	担当者	遠藤 裕和
	電話番号	0240-23-5200
	メールアドレス	katsuraomura02@vill.katsurao.lg.jp

被災状況	面積	84.37km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊) (半壊)	全壊(なし) 半壊(11棟)
	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1人		
備考				

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県新地町 ～

事業名	新地町復興支援員	事業実施主体	福島県新地町
		関係協力団体	新地町観光協会

**概要** 新たな観光資源の活用や情報発信により観光分野の復興を加速させるため復興支援員を設置し、交流人口拡大や地域活性化及び特産品の風評払拭・販売促進を図る活動に取り組んでいる。

支援員数	2名(令和4年12月末)	活動時期	令和3年7月～
------	--------------	------	---------

**活動地域** 福島県新地町

**活動内容**

- ・新地町の風評払拭のため地元事業者と協力し、県内外で開催される物産展等に参加し、特産品の販売促進をするなど、当町の観光PRや物産振興に取り組んでいる。また、ホームページやSNSを活用した情報発信の他、メディアへの出演を通して町の魅力発信に努めている。
- ・町内の団体と連携しながら、復興事業により整備された新たな地域資源を活用した賑わい創出イベントの広報・運営を支援している。
- ・観光協会の運営支援として、多言語観光サイトやQRマップを整備し、交流・関係人口の拡大への取り組みを進めている。



ホームページ	<a href="https://www.shinchi-town.jp/">https://www.shinchi-town.jp/</a>		配属地域概要	人口	7,716人	高齢化率	34.7%
--------	---	--	--------	----	--------	------	-------

問合せ先	所属	企画振興課	被災状況	面積	46.7km <sup>2</sup>	住宅被害 (全壊)	474戸
	担当者	持館 香織		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	119人		
	電話番号	0244-62-2112	備考				
	メールアドレス	kanko@town.shinchi.lg.jp					